

社協だより

平成30年11月15日発行 社会福祉法人 士別市社会福祉協議会 士別市東5条3丁目 サポートセンターしべつ内(TEL22-3012)
<http://www.shibetsu-shakyo.jp/>

ボランティア研修交流会

10月13日、士別市、名寄市、剣淵町、和寒町のボランティアさんが集う「研修交流会」が、和寒町体育館で開催されました。

今年は和寒主催で開催され、全日本玉入れ協会(JAN)会長の奥田氏から、「まちおこしと玉入れ」のお話を聴き、実際に玉入れにチャレンジ。また、車いす利用者の方など「誰もが楽しめる」ことを目的に考案された「ウィルチェアアジャタ」も体験しました。さらに、2市2町混合の4チームに分かれ、風船リレーや輪投げなどのゲーム大会を実施し、熱い戦いが繰り広げられました。その後の交流会では、和寒町ボランティアの皆さん手作りの、地獄鍋や南瓜団子など様々な料理を味わいながら交流し、大いに盛り上がり、あっといいう間に終わりの時間に。また来年の再会を約束し閉会となりました。



10月13日、士別南中学校にて、「災害に強い地域づくり研修会（士別市社協支部研修会）」を行いました。

本研修会は、士別市主催「士別市総合防災訓練」へ参加する形で実施。「災害食調理・試食」、「物資受入れ・仕分け」、「防災講話」、「避難所一泊体験」など、様々な研修内容がありました。

特に、本研修会メインとなった「災害食調理体験」では、北海道担当職員の指導を受けながら、「ポテトのミルク煮」を150食も調理し、来場者へ提供しました。炊き出しや講話などを通して、様々な角度から、水害や停電などの「まさかの坂」を考える機会となりました。

災害に強い地域づくり研修会 （士別市社協支部研修会）

権利擁護研修会

1市3町（士別市・剣淵町・和寒町・幌加内町）社会福祉協議会が9月20日、市民文化センターで、認知症や障がい等で判断能力の低下により日常生活に不安をかかえている方の権利を守り、住み慣れた地域で安心して生活できるように支援することを目的に、「権利擁護研修会」を開催いたしました。



研修会には、民生委員、介護保険事業所職員、金融機関職員、社協職員など、61人が参加しました。

研修会では、シンポジウム「事例をおして各関係機関との連携を考える」と題して、生活支援員の山木さんより事例を紹介してもらいました。紹介事例に基づき、対象者に対して日常生活自立支援事業・成年後見制度や介護福祉サービス

の活用について、パネリストの野中弁護士・渡辺相談員・ヘルパーの大熊さんと意見交換しました。対象者のニーズを把握し意思尊重しながら自己実現に向けて、各事業所の担当者個々の結びつき（連係）をはかり、事業所間が連動（連携）して支援することが大切であることを学びました。

最後に、山木支援員と寺口専門員に振り返りや感想を話してもらいシンポジウムを終了しました。

参加者は、熱心に聞き入り日常生活自立支援制度や成年後見人制度について、理解を深めていました。



「第51回 朝日町福祉運動会」開催される

11月1日(木)朝日町農業者トレーニングセンターにおいて、朝日支部地域活動推進事業の軽スポーツを楽しみながら親睦を深め、心身の健康推進と合わせて福祉の向上を図ることを目的に「第51回朝日町福祉運動会」が開催されました。

今年は老人クラブ、自治会、身体障害者福祉協会から61人、昼食ボランティア並びに競技役員の皆さんなど44人の総勢105人の参加、協力のもと紅白に分かれて、11種目の競技を楽しんでいただきました。

左右のスタート地点から4名ずつスタートし、途中で数字入りのカードを拾い、2枚の合計が100点になる人と手をつなぎゴールする「二人の心は100点満点」では、自分の数字を絶叫しながら相手を探す様子が会場が盛り上がりました。

総合成績では、4年ぶりに赤組が優勝し、優勝旗が赤組代表に授与され、楽しく大会が終了いたしました。



「二人の心は100点満点」



上手に聖火リレー



「強力 だるま落とし」



「あわてず急がず玉送り」



「大玉転がし」



「優勝旗授与」

ボランティアセンター『掲示板』

～ボランティア愛ランド北海道
2018 in おたる～

10月21日、「～今、求められるボランティア～」をテーマとしてボランティア愛ランド北海道が小樽市で開催され、土別から5名が参加、「途上国から世界に通用するブランドをつくる私の挑戦 ～まず、一步前へ～」というテーマで、「株式会社マザーハウス」代表取締役兼チーフデザイナーの山口絵里子さんの講演を聴講しました。

「なぜ、あのような安い値段で服などが売られているのか?」。その背景には、途上国の人々の苦労があることを山口さんは学生時代に肌で感じ、このままでは不公平だという思いから今の取り組みを始めたと聞き、とても感銘を受けました。「自分たちも何かしなければならぬ、何ができるのだろう」という気持ちになった素晴らしい講演でした。

その後3つの分科会に分かれ、私は北海道まちづくりボランティア会議代表の藤井英規さんから、



自身のボランティアを通して経験した講話を聴き、会場では涙を流している方もおり、藤井さんの素晴らしい人柄に触れることができました。

講演の中で私が印象に残った言葉、『ボランティアは人を作り、その人たちが町を作る。ボランティアは町づくりへとつながる。』この言葉を受け、より一層ボランティア活動に取り組み、常に自分には何ができるのだろうと考え、今後生活していきたいと思いました。



第37回 歳末チャリティー ふれあい演芸会

12月2日(日) 入場料 500円

10:30~15:00(開場9:30)
会場 土別市民文化センター大ホール



益金を「歳末助け合い募金」として、土別市共同募金委員会へ寄付します。募金に協力しながら、一緒に演奏や踊りなどのステージを楽しみませんか?



主催 ふれあい演芸会実行委員会

後援 土別市 / 土別市民生委員児童委員協議会
土別市共同募金委員会 / 土別市社会福祉協議会

問い合わせ ふれあい演芸会実行委員会事務局(担当 生方・小林・古川)
土別市東5条3丁目1-1土別市社会福祉協議会内
☎ 22-3012 fax 22-3019

歳末チャリティー第34回 カラオケ選手権大会

12月9日(日) 入場料 500円

13:00~16:00
(開場 11:30)

土別市民文化センター
大ホール

賛助出演
日本現代舞踊徳本流すずらん会

本大会の益金は、歳末たすけあい募金として、土別市共同募金委員会に全額寄付いたします。



主催 しべつふれあいの会

後援:土別市/土別市共同募金委員会/土別市社会福祉協議会
お問い合わせ:しべつふれあいの会事務局(担当 生方・小林・古川)
土別市東5条3丁目1-1土別市社会福祉協議会内
☎22-3012 fax22-3019

